

# こんにちは! あかちゃん

8月以降に大森山動物園で  
生まれた赤ちゃんをご紹介します。



ライオン

お母さんのトモはこれまで2回出産しましたが、残念ながら赤ちゃんは生まれてまもなく亡くなってしまいました。9月27日に4頭(オス3、メス1)が生まれ、トモがうまく子育てできるか心配でしたが、みんな順調に成長し、今では肉も食べられるようになりました。

(9ページの飼育レポートでも紹介)



アカカンガルー

昨年はカンガルーのベビーラッシュでした。8月から12月にかけて4頭の赤ちゃんが誕生しました。現在は時々お母さんの袋から出てきては、ぎこちないジャンプを見せてくれます。部屋の中で大家族が寄り添って、のんびりしている様子にとっても癒やされます。

(写真は8月生まれのニーナ(手前)とパク)



コモンマーモセット

12月1日、3頭の赤ちゃんが誕生しました。残念ながら2頭は生後まもなく亡くなってしまいました。残った1頭は母親や家族に見守られながら順調に育っています。

## 元気でね! 大森山を後にした動物たち

シバヤギ「ぎんた」「とうふ」



10月28日にシバヤギのぎんた(オス 写真左)と、とうふ(メス)が熊本市動植物園へ引っ越しました。遠くへ行きましたが早く向こうの仲間たちと仲良くなしてほしいです。

このほか、プレーリードック2頭とシロフクロウ2羽が弘前市弥生いこいの広場へ、シロフクロウ1羽が東京都の井の頭自然文化園に引っ越しました。

# よろしくね!

## 仲間入りした動物たち



アフリカゾウ

10月15日に仙台市八木山動物公園からメスのリリー(29歳)がやって来ました。東北3園でアフリカゾウの繁殖を目指す取組により、当園のだいすけとペアになります。当園の花子とは期間限定の交換です。

(4～5ページの特集1でも紹介)



アビシニアコロブス

11月27日にアビシニアコロブスが来園しました。当園では11年ぶりとなる飼育です。上野動物園からオスのトリトン、よこはま動物園からメスのレイアが仲間入りしました。

(写真はレイア。8ページの飼育レポートでも紹介)



ニホンコウノトリ

11月1日、ニホンコウノトリのペアが当園のペアと交換で、東京都の多摩動物公園より仲間入りしました。かわいいヒナの誕生が楽しみです。

### 今後の導入予定…シマフクロウ

主に北海道やロシア南東部に生息し、翼を広げた長さは190cmにもなるフクロウの仲間では最大級の大きさです。当園で飼育展示が始まれば本州以南では唯一の施設となります。

### 飼育動物数

2018年12月末現在

哺乳類	53種	352点
鳥類	25種	152点
爬虫類	11種	23点
両生類	4種	7点
魚類	3種	20点
無脊椎動物	1種	23点
合計	97種	577点

## 訃報 忘れないよ...



### ミーアキャット

(11月7日死亡)

オス1頭が亡くなりました。昨年10月頃から時々元気がなく食欲の低下も見られ治療をしていましたが、回復することはありませんでした。2014年2月に来園以降、天気の良い日には、直立姿勢で日光浴する様子がお客様にも人気でした。



### フタコブラクダ

楽楽(らくらく)(1月5日死亡)

楽楽は2002年9月に大森山動物園で生まれました。親は友好都市の蘭州市から来た蘭泉(らんせん)と田田(てんてん)です。昨年頃から食欲が無くなり、飼育員、獣医師が歯の治療をするなど手を尽くしましたが、1月4日に立ち上がれなくなり、翌日に亡くなりました。